要　望　書

令和７年度

ＪＲ関西本線利用促進と電化を進める会

平素は、関西本線の整備促進及び利便性向上につきまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。また、貴社におかれましては、人件費や物価高騰等の経済社会の変化に対応し、安全な運行にご尽力いただき、重ねてお礼申し上げます。

沿線人口の減少や車社会の進展により利用者が減少していく中、去る 2022 年４月に、貴社が輸送実績として大量輸送機関の機能を発揮していない線区を公表し、その線区に関西本線亀山・加茂間が含まれておりましたこと、貴社をはじめ鉄道を取り巻く状況等の危機感を利用者である私たちも共有する機会となりました。

しかしながら、鉄道路線の重要性は損なわれるものではなく、暮らし続けることのできる地域としての定住促進、観光誘客による伊賀地域の活性化、地震などの自然災害に対する交通ネットワークの多重化の観点、さらには将来のリニア開業を見据え、伊賀地域において関西本線の重要性はさらに増してきております。また、本年２月に実施された名古屋・伊賀上野間の直通列車の実証運行では、多くの来訪者が訪れ、まちに賑わいと活気を与えてくれました。

当会は、関西本線が伊賀地域の振興・活性化に欠かせない路線であることを十分認識し、沿線住民及び市内企業への啓発活動や「忍者」「歴史」など沿線の魅力的な観光資源を活用した利用促進事業を実施しながら、関西本線が本来持っている利点を生かすため亀山駅～加茂駅間の活性化に向けた取組を展開しているところです。
同時に、貴社をはじめ他の鉄道事業者との相互理解による信頼関係をさらに構築し、互いに連携協力、研究しながら、地域と線区の活性化を図ることを強く望んでいます。

つきましては、貴社におかれまして、こうした沿線地域の諸事情をご賢察の上、次に掲げる措置について、ご高配を賜りたく要望します。

要　望　事　項

１　関西本線の維持と利便性向上に向けた機能強化

（１）関西本線（亀山～加茂間）の運行本数の維持
（２）他線区との乗換駅における乗継時間の更なる改善（特に亀山駅での乗継時間の短縮）
（３）自然災害や獣害被害等に影響されない安定した運行
（４）亀山～加茂間（61.0㎞）の電化（特に柘植～伊賀上野間の早期着手）
（５）草津線の連絡駅である柘植駅へのICカードチャージ機の設置
（６）高齢者や障がい者への合理的配慮の提供

２　関西本線の利用促進にかかる観光客誘致等への協力

（１）西日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、沿線府県、沿線市町村及び関係諸団体との連携強化による、国内及びインバウンド観光客への広告宣伝活動の実施
（２）大阪・京都から伊賀方面への案内表示の充実
（３）奈良伊賀間のアクセスを向上させる奈良駅への直通列車の運行
（４）他の線区と連携した周遊きっぷの継続的な販売
（５）リニア中央新幹線の三重県新駅設置を見据えた関西本線・草津線間の流動促進策の検討

西日本旅客鉄道株式会社
代表取締役社長兼執行役員　　倉　坂　昇　治　様

西日本旅客鉄道株式会社
執行役員兼近畿統括本部長
冨　本　直　樹　様

西日本旅客鉄道株式会社
理事近畿統括本部副本部長
近畿統括本部阪奈支社長　　髙　須　優　子　様

ＪＲ関西本線利用促進と電化を進める会
会長　　田　山　雅　敏